

2014（平成26）年度 松江北高10大ニュース（日付順）

◆平成26年3月31日

国公立大学（現浪計） 202名合格

東京大学4名、京都大学4名、国公立大学医学科7名を含む、202名の生徒が国立大学に合格しました。また、私立大学の合格者は、延べ349名でした。



◆4月1日

泉雄二郎校長就任

河原一朗校長が定年退職となり、4月より第23代校長として泉雄二郎校長が着任しました。

河原校長に続く双松会（26期）の校長であり、教育重点目標としての次の4点を定め、学校経営に取り組んでいます。

- ・丁寧に向き合うことにより自己肯定感を高める
- ・授業改革により主体的学習態度を確立する
- ・部活動により学校を活性化
- ・キャリア教育・地域連携により社会貢献意識を喚起する



◆4月12日

双松の植樹祭

平成25年4月に双松候補として認定された松（校門付近の松）の植樹（移植）を行いました。当日は、松本前双松会会長、庄司会長、金平幹事長の御参加のもと、(有)足立農園社長の指揮により無事移植が行われ、田原神社宮司により植樹祭（お祓い）をしていただきました。

双松が若々しく復活した姿に、感動を覚えるとともに、末永く北高を見守ってくれるよう願っています。

なお、「赤山の緑を守る基金」へいただいたご寄付は目標を上回り、約600万円となりました。有り難うございました。



◆5月30日～6月7日

第52回島根県高等学校総合体育大会

各部がこの大会を目指して全力を尽くして健闘しましたが、男子第4位、女子第4位、総合第4位の結果でした。その中でも、男子バドミントン部、陸上競技部、女子ボート部、弓道部、女子テニス部、男子登山部はインターハイ（南関東総体2014）への出場権を獲得しました。



◆8月2日～4日

国際高校生フォーラム in 倉吉で最優秀賞

鳥取県立未来中心を会場として開催された『第13回国際高校生フォーラム』において、『高校生が考える21世紀の医療～限りなく発展する医療技術と生命倫理を架橋せよ～』をテーマとして参加校の発表が行われました。本校は「A Project That Makes Babies Happy」というタイトルで発表を行い、岡山操山高校、米子東高校、倉吉東高校、松本深志高校、長崎東高校、大韓民国安養高校、そして本校の7校のうち、最優秀賞を受賞しました。



◆総文祭：7月27～日7月31日

文化部2部が全国大会に出場

次の3部が第38回全国高等学校総合文化祭に出場しました。

囲碁・将棋部（男子団体）

百人一首かるた部

美術部（立体デザイン部門）

また、放送部（朗読部門）は第61回NHK杯全国高校放送コンテストに出場しました。

(右写真)

美術部
出品作
「DICE」



◆10月14日

藤原和博先生によるワークショップ

元リクルートフェロー、東京都初の民間人校長（元杉並区立和田中学校長）であり、現在は教育改革家としてご活躍の藤原和博先生を講師に迎え、「情報編集力を高めるワークショップ」を開催しました。1年生を対象として「ハンバーガー店の店長になってみよう&流行る店、流行らない店」をテーマに議論して、情報をどのようにとらえ、どのように組み合わせ、発展させ、何を導き出すかという情報編集力を高めるためのワークショップです。身につけた力を、これに続く「地域課題研究」において、発揮させるためのものですが、生徒たちは大変意欲的に取り組んでいました。



◆(フィールドワークリサーチ)10月15日～17日、(成果発表)10月30日

地域課題研究

地域が抱えている課題を知り、その解決策を考える過程で、社会と自らのつながりを認識させ、成果発表を通してコミュニケーション能力を高める活動で今年度から始めました。5、6人程度の班でテーマを決めて、校外での調査や取材を通して自分たちなりの解決策の発表へとつなげる学習です。生徒は発表する側と他の班の発表を聞く側の両方を経験し、「地元の活性化」、「定住」、「観光」など多様なテーマで発表しました。最優秀となった班は、3月に開催される松江市ボランティアフェスティバルに出場して発表を行う予定です。



◆竣工日：①7月19日 ②8月26日 ③10月31日(陸上)・12月10日(野球) ④12月12日 ⑤平成27年2月3日

施設整備

施設の整備がいくつか進み、快適な環境が整ってきました。

- ①管理棟リフレッシュ工事
- ②第一グラウンド照明増設工事（4基→8基）
- ③陸上競技部、野球部の部室及び屋外トイレ建て替え工事
- ④武道場天井改修（老朽天井の撤去、照明増設）
- ⑤第1・2体育館及び寄宿舍漏水対策工事
(台風による漏水被害の補修)



グラウンド照明：写真内○

◆(未定)

教室のICT化進む

島根県教育委員会の「ICTの活用による新たな学び推進モデル事業」により、本校のホームルーム全てと特別教室にプロジェクター、実物投影装置を常設整備することになりました。また、3台のタブレット端末の整備も併せて決定しております。

新しい時代に必要となる資質・能力の育成のために「主体的・協働的な学び」の充実が求められていることから、本校が島根県において先陣を切って活用を進めてまいります。



(上の写真はイメージです)